



十善会
広報誌

じゅうぜん通信

2025
6月号

発行日：2025年6月
発行：社会福祉法人十善会 十善会病院

〒852-8012 長崎県長崎市淵町 20-5 TEL.095-864-0085
<https://juzenkai-hospital.or.jp/>

社会福祉法人十善会 十善会病院広報誌

じゅうぜん通信

vol.05

2025年 6月号

TAKE FREE

150年

十善会病院

特集

十善会150年のあゆみ

150周年のご挨拶 / 入退院の流れ / 新入職者インタビュー / イベント情報 / 連携医療機関のご紹介

無料低額診療事業について

経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることがないように医療費の免除を行う制度です。



このようなことでお困りではないでしょうか？

- 体調が悪いので受診したいが、医療費の支払いが心配
- 医療費の支払いが大きく、生活が困難
- 病気や失業等により収入が一時的に減少し、医療費の支払いが困難

※対象となる方は面談・所得に関する審査が必要になります。



お問い合わせ



医療福祉相談室（病院1階受付そば）

電話（代）：095-864-0085

時間：月曜日～金曜日 9：00～17：00

地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟とは、急性期病院、病棟からの患者様の受け入れ（ポストアキュート）、在宅・施設からの緊急時の受け入れ（サブアキュート）の両方に対応した、病院と地域との橋渡しを担う病棟です。退院後に安心して生活が送れるように、患者様やご家族と相談しながら地域の先生方やケアマネージャー、介護施設との連携を図り、多職種協働で退院支援を行っております。またレスパイト入院にも対応しております。

「レスパイト」とは「一時休止」「休息」という意味で、在宅介護をする介護者の事情で一時的に在宅介護が難しくなった場合に、短期間の入院を利用することによって介護者の負担軽減を図る制度です。



お問い合わせ

地域連携室（直通）

電話（直通）：095-801-2599

時間：月曜日～金曜日 9：00～17：00



社会福祉法人十善会
十善会病院

社会福祉法人十善会 十善会病院

〒852-8012 長崎県長崎市淵町 20-5

TEL.095-864-0085 FAX.095-801-2715 <https://juzenkai-hospital.or.jp/>



社会福祉法人十善会
十善会病院

「じゅうぜん通信」はWEBサイトでもご覧いただけます
<https://juzenkai-hospital.or.jp/>





十善会 150 年に寄せて

社会福祉法人 十善会 理事長

りゅう のぶとし

笠 伸年

当院の起源は明治 8 年、1875 年に高木文章が柳川藩の御殿医を辞して十善寺郷中新町に開業した十善寺病院です。今年 2025 年はその時から数えてちょうど 150 年となります。この長きに渡る当院の歴史を、私の視点から（独断と偏見を交えて）簡単に纏めてみたいと思います。尚、私の勤務以前の記述は第 2 代理事長である高木忠一郎が書いた「地域医療を旨に 120 年の歩み」を参照しました。

ご存知の通り長崎出島は鎖国時代、西欧に開かれた唯一の窓口でした。そして幕末、1824 年にシーボルトが鳴滝塾を開設、1857 年 11 月 12 日医学伝習所にてボンペが系統的な医学講義を開始しました。長崎大学医学部はこの日を創立記念日としています。1861 年日本初の近代的病院である小島養生所が開設されました。1867 年大政奉還、1868 年が明治元年、その僅か 7 年後に創立されたのが十善寺病院です。高木文章はもともと長崎に縁があったのか、それとも日本における西洋医学の発祥の地である長崎に憧れたのかは分かりませんが、48 歳で小島養生所にほど近い場所を選んで病院を開業、地域医療を旨に新たな道を歩み始めました。2 代目病院長高木政夫、3 代目吉田信は高木文章の娘婿です。4 代目院長の高木智寛の時に太平洋戦争、原爆投下を経験し、直接被害が及ばなかった当院は被爆者救護の中心的役割を担いました。5 代目岩永光治の時、昭和 26 年に医療法人が認められ、初代理事長に就任しました。昭和 33 年に社会福祉法人となりましたが現在の当院の創立記念日、創立何周年というのは昭和 26 年を起点に数えています。岩永光治も高木智寛の娘婿でした。第 6 代院長、第 2 代理事長の高木忠一郎で創業家の血縁は途絶えます。以後理事長は小路敏彦、小川繁晴、笠、病院長は木原正高、小川繁晴、笠、麻生憲史と続き現在に至っております。

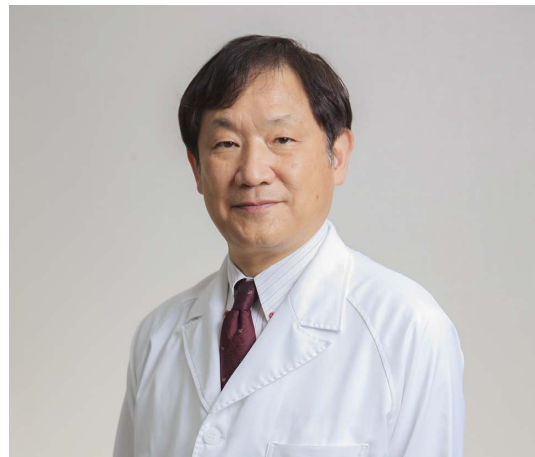
一族で継承していくのは一体感があって良い面もある一方で、血縁なりの難しさ、確執もあるのかも知れません。広く優秀な人材を登用することを考えれば、血縁に拘る必要は無いのかなと思います。ただ高木文章が抱いた地域の皆さんへの分け

隔てのない医療という信念は、理事長、院長が変わっても、血縁が途絶えても今でもぶれずに脈々と受け継がれている当院の根幹です。そしてそれは理事長、院長のみで作られたものではなく、多くの医師、看護師、職員ら先人達の努力、苦労、汗と涙で紡ぎあげられた当院の歴史そのものです。

当院の歴史を語る上で大きな転換と言えるものの一つが 4 年前の淵町移転だと思います。当院は中新町から稲田町、本籠町、籠町と移転してきましたが、いずれも小島養生所にほど近い、華僑や中国人留学生の多い界隈でした。建物老朽化で耐震補強も出来ず、病院存続のためには移転新築するしか選択肢が無い状況で移転先を探し、この淵町を新天地に選びました。時代が変わり社会情勢、医療環境が大きく変貌しても、例え立地が変わっても、創業以来の地域医療、今で言う地域包括医療を旨に、今後も十善会は長崎の医療に貢献していきたいと考えています。

平成 5 年、私が十善会に赴任した初日、高木忠一郎理事長に挨拶した時に感じたその圧倒的な雰囲気、カリスマ性、低音のよく響く声を今でも覚えています。またある日料亭で女将さんが理事長に「あら忠ちゃん！」と話しかけるのを聞いてびっくりしました。その頃は長崎の古き良き時代の医師像の象徴のように思っていたのですが、今考えると当院の歴史は決して順風満帆ではなく苦難の連続でした。しかし創業以来の長年に渡る分け隔てのない地域医療、経済的に貧しい中国人留学生等に対する医は仁術の精神があったからこそ、無料低額診療を柱とする社会福祉法人の病院が認可されたのでしょう。大学に入学した時から長崎の古き良き時代の雰囲気や憧れていた私は、その象徴的な十善会で、150 年の歴史の中の 30 年弱に多少なりとも携われたことを幸せに思います。今後も医療を取り巻く環境は厳しさを増していくでしょうが、創業以来の精神を忘れず職員の皆と頑張っていけたらと願っています。

勿論、当院を支えていただいている近隣の医療機関、各業者や地域住民の皆さんと共に。



創立 150 年のご挨拶

社会福祉法人 十善会 院長

あそう のりちか

麻生 憲史

当院は令和 7 年 6 月 15 日をもちまして創立 150 周年を迎える運びとなりました。記念すべき節目を迎えることができたのも、ひとえに患者さんをはじめ、地域の皆さまや職員・関係者に支えられてきたおかげと心より感謝申し上げます。

当院の歴史は 1875 年（明治 8 年）6 月に、福岡柳川藩の御典医だった高木文章が「十善寺病院」を長崎村十善寺郷（現長崎市中新町）に開設した時点にさかのぼります。以降、「高木内科・外科病院」、「医療法人十善会 高木病院」、「公益法人十善会 高木病院」を経て昭和 33 年 5 月より「社会福祉法人十善会 十善会病院」として受け継がれてきました。その間、昭和 20 年 8 月の原爆投下や昭和 57 年 7 月の長崎大水害および令和元年に発生した新型コロナ感染症に直面しながらも市民の救護、救急診療、看護師の育成や防疫活動に尽力してまいりました。

振り返ると昭和 37 年 4 月に県内で最初の「救急部・救急室」を設置、昭和 39 年 6 月に「救急告示病院」に指定、その後脳神経外科などの診療科を新設しつつ昭和 53 年 10 月に「病院群輪番制病院（第二次救急医療）」の指定を受け地域医療の中核的な役割を長きに渡り十善寺地区において担い続けておりました。しかしながら建物の老朽化により令和 3 年 6

月現在の淵町に新築移転しました。新病院では病棟編成を急性期病棟 94 床、地域包括病棟 94 床と地域包括病棟を拡充したことで、これまでの「治す医療」から「治し・支える医療」を支援できる体制が整ったと考えております。内科、外科、脳外科、形成外科、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科の診療科と各種健康診断を行う十善会病院健康管理センターおよび安心の在宅療養を支援する十善会在宅総合支援センターを有して、当院の理念である「救急から在宅まで」を目標に、患者さんが満足し職員も満足する病院づくりを実現することにより地域住民の保健・医療・福祉の向上に貢献する、を目指して一致団結して安全で質の高い医療を提供しております。しかしながら医師偏在、高齢化、地方人口の減少、求められる医療の多様化、働き方改革への対応、医療費削減、医療スタッフのストレス軽減など医療業界を取り巻く環境は決して安泰ではありません。

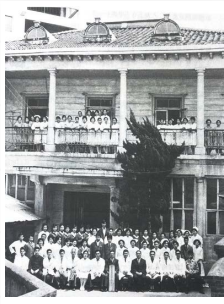
今後も患者さんやご家族の皆さまからの一層の信頼を得るために職員一人一人が医療の安全に留意して高い倫理観を持って医療を提供すると同時に、職員の方々が安心して働ける充実した職場を目指してまいります。今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。



平成 9 年 十善会全景（籠町）

十善会 150 年のあゆみ

— JUZENKAI HOSPITAL 150TH HISTORY

年 月	病院のできごと	世の中のできごと
明治 8 年	6 月 高木文章、柳川藩御典医を辞し、長崎市中新区にて医院開業	● 明治8年(1875年) 渋沢栄一(35 歳)、日本初の国立銀行である第一国立銀行の頭取に就任
昭和 2 年	6 月 4 代目高木智寛、本籠町に医院を移設	● 昭和14年(1939年) 第二次世界大戦が勃発
昭和 13 年	7 月 籠町(当時：広馬場町 1 番地 旧広東会館)に病院を移転	● 昭和20年(1945年) 広島、長崎に原爆が投下された。ポツダム宣言受諾により太平洋戦争は終わり、第二次世界大戦も幕を閉じた。
昭和 20 年	8 月 原爆投下直後から市民の救護に当たり、市内各所の救護所が閉鎖されていくなかで、近隣の医師たちの協力を得ながら、新興善特設救護病院とともに最後まで救護の中心的役割を遂行した	● 昭和33年(1958年) 東京タワー完成 (高さ 333m、当時世界一の高さの建造物)
昭和 26 年	5 月 「医療法人十善会 高木病院」開設	 昭和 43 年当時の本館
昭和 30 年	6 月 「公益法人十善会 高木病院」開設	
昭和 33 年	5 月 「社会福祉法人十善会 十善会病院」開設	 和気あいあいムード、当時のようすがうかがえます。
昭和 37 年	4 月 「救急部・救急室」を設置(県内で最初)	
昭和 38 年	4 月 十善会准看護婦学校設立	 N.M 様「奇跡の妻」映画化にて女優真理明美さん来院見舞う。
昭和 39 年	6 月 「救急告示病院」指定	
昭和 44 年	4 月 十善会高等看護学院開設	● 昭和47年(1972年) 沖縄が日本に返還される、札幌オリンピック開催、上野動物園にパンダのカンカン、ランラン初来日
	7 月 十善会助産所(第二種社会福祉事業)開設	● 昭和49年(1974年) 端島炭坑(軍艦島)が閉山
昭和 47 年	4 月 N・M 様(交通事故による植物状態での出産)の医療・看護への貢献に対し、長崎北ロータリークラブより感謝状を受ける	● 昭和53年(1978年) 成田国際空港が開港、日中平和友好条約調印、原色スーツで踊る若者(タケノコ族)が注目される
昭和 49 年	3 月 十善会助産所から十善会助産施設に改称	● 平成元年(1989年) 昭和天皇ご逝去、平成時代が始まる。ベルリンの壁崩壊、消費税(3%)導入
昭和 50 年	10 月 「形成外科」新設	● 平成3年(1991年) 長崎県・雲仙普賢岳で大火砕流発生
昭和 52 年	5 月 保健婦(現保健師)による「訪問看護」開始(県内で最初)	
	6 月 救急医療の功績により長崎市長より感謝状を受ける	
昭和 53 年	7 月 全身用 CT 設置(全身用では県下第 1 号)	
	8 月 「脳神経外科」新設	
	10 月 「病院群輪番制病院(第二次救急医療)」指定	
	11 月 長崎県知事より感謝状を受ける(県民の救急医療業務に貢献)	
昭和 57 年	7 月 長崎大水害において救急診療・防疫活動に貢献	
平成 3 年	9 月 血管造影装置(DSA：東芝)設置(以降、最新機種に更新継続中)	
平成 6 年	3 月 十善会看護専門学校閉校	
	5 月 「十善会訪問看護ステーション」開設	

十善会病院は1875年に高木文章が開業した十善寺病院に端を発し、長崎市民の皆さまに支えられながら今年2025年に150周年を迎えることができました。

1875 - 2025

150th Anniversary

年 月	病院のできごと	世の中のできごと
平成 8 年	9 月 核磁気共鳴画像診断装置(MRI：東芝)設置(以降、最新機種に更新継続中)	● 平成7年(1995年) 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件、白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界遺産に登録
平成 12 年	4 月 「十善会ケアマネジメントセンターかごまち」「十善会ケアマネジメントセンター新中川」「十善会訪問リハビリテーション事業所」を開設し、「住宅生活総合支援グランドデザイン」ファーストステップ完了	 十善会全景(平成 9 年)
	11 月 「地域連携室」を設置し、他病院・診療所・福祉施設等とこれまで以上に密接な連携を推進し、患者サービスの向上を図る	
平成 14 年	4 月 開放型病院認可(開放病床 5 床)	● 平成12年(2000年) 日蘭交流 400 周年、2000 円札発行
平成 15 年	4 月 地域連携室に専門職「フロアマネジャー」を設置し、各診療科で行っていた「入院予約」「病床管理」「入院～診療支援～退院調整」等の窓口及び業務を一元化することにより、患者サービスの向上を図る	 前病院(籠町)写真
平成 16 年	7 月 (財)日本医療機能評価機構「認定病院」(バージョン 4.0)	
平成 18 年	2 月 核磁気共鳴画像診断装置(MRI：GE 横河)新機種設置	 前病院での思い出の 1 枚
	3 月 長崎市在宅介護支援センター十善会及び十善会ケアマネジメントセンター新中川閉鎖	
	9 月 救急医療功労者として厚生労働大臣より表彰される(平成 18 年度「救急医療功労者厚生労働大臣表彰」)	● 平成22年(2010年) 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還し、サンプルリターンに成功
平成 19 年	10 月 禁煙外来ニコチン依存症管理料保険適用承認施設(敷地内禁煙)	● 平成23年(2011年) 東日本大震災、なでしこジャパンW 杯優勝
平成 20 年	4 月 「情報管理室」を新設し、IT 関連及び各種情報の総合的・一元的管理を行なう	● 令和2年(2020年) 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4 月 7 日緊急事態宣言を発令
平成 21 年	2 月 長崎地域医療連携ネットワークシステム「あじさいネット」共用開始	● 令和3年(2021年) 東京オリンピック開幕。日本は史上最多 58 個のメダルを獲得
	3 月 長崎県地域脳卒中センター認定	
	4 月 亜急性期病床新設(本館 6 階 20 床)、リハビリテーション室移転、DPC 対象病院認可	
平成 22 年	12 月 地域医療ネットワークシステム(HumanBridge)更新	
平成 24 年	9 月 日本脳神経外科救急学会より感謝状を受ける(救命救急に関する教育・研修及び救急医療の向上に多大な貢献)	
平成 26 年	7 月 (財)日本医療機能評価機構「認定病院」認定期間満了	
	10 月 地域包括ケア病床 20床新設(亜急性期病床転換)	
令和 3 年	6 月 淵町に新築移転	
令和 5 年	6 月 笠伸年が新理事長に就任、十善会新体制へ	



令和 3 年 6 月 淵町に新設移転

Aさんの
入院から学ぶ！

入退院の流れ

入院前から退院後まで多職種がサポートします。

皆さんは、入院から退院までの道りを具体的にイメージしたことはありますか？
今回は Aさんの入院を例に十善会病院での入退院の流れをご紹介します。



Aさん

外来受付



担当医の診察

入院が決まる

担当医より入院・
手術の指示を受ける。

入院の日を迎える

入院準備を進める

入院セットレンタルも
ご用意しております

入院時に必要な衣類・タオル・紙オムツなどを日額（定額料金）でご利用できるサービスです。詳しくは病院スタッフまでおたずねください。



病棟看護師

入院前の面談でお聞きした情報を確認しているので、患者さんの入院後すぐにケアを提供することができます。



医療費や今後の生活のことなど
心配ごとはありませんか？入院前～
退院後までサポートします！

医療福祉相談室

医療福祉相談室では、病気やご入院の際に起きるさまざまな問題について、専門の医療ソーシャルワーカーがご相談をお受けいたします。

一緒にがんばり
ましょう！

リハビリテーション課

転倒予防・体力調整について
アドバイスをいたします。
※問診で該当の方のみ



入院時支援
看護師と面談

入院予定の患者さんに、入院生活をイメージし、退院まで安心して医療が受けられるよう、外来において多職種で支援します。ご不明な点は御遠慮なくお尋ねください。



術前外来

術前外来を行うことで、病歴やリスク因子を確認し、麻酔科医と情報共有し、患者さんが安心安全に手術を受けられるよう支援しています。



薬剤課
スタッフと面談

入院時に普段服用している薬の一覧表を作成し入院中に内容確認できるようにしています。退院時には薬剤管理サマリを作成し、他の施設の方と情報を共有しております。



食物アレルギー
などがありますか？



管理栄養士と入院前栄養面談

管理栄養士は、患者さんに安心・安全なお食事を提供するため、主に、アレルギー（禁止食品）の有無、糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの既往歴の確認、食形態（ミキサー食・きざみ食など）の確認を行っています。また栄養管理面では、直近の体重減少などをお聞きする場合があります。

医事課スタッフの入院前説明

医事課では入院前の患者さんの不安を少しでも和らげる為に、説明や質問には的確に答えられるよう務めています。



退院に向けての準備

患者さん本人・ご家族との面談を行い、退院に向けた課題の整理や退院後の療養場所の決定までを多職種で調整・支援を行います。



かかりつけの
〇〇医院へ紹介状を
書いておきますね！



担当医より
退院許可がでる

退
院

お大事に！

新入職者インタビュー 2025

十善会病院の新しいスタッフをご紹介します！どうぞよろしくお願いいたします。



QUESTION

- ① 自分を動物に例えたら？
- ② この職業を選んだ理由は？
- ③ 十善会病院を選んだ理由は？
- ④ 十善会病院の印象は？
- ⑤ 1年後どのように成長していきたいですか？

しおつか
塩塚 すず

医事課

① イヌ ② 資格勉強をしてやりがいがありそうだとおもったから ③ 友人から評判がいいときいたから ④ キレイ、明るい ⑤ 患者さんが安心して、声をかけられる受付事務になりたいです。

えざき あやの
江崎 彩乃

検査課

① ネコ ② 病気の早期発見や予防に貢献したいと思ったからです。 ③ 地域医療に貢献したいと思ったからです。 ④ 入社前から声をかけて頂き、不安が和らぎました。優しい方が多い印象です。 ⑤ 自信をもって正確な検査結果が出せるように成長していきたいです。

きのした なお
木下 奈央

看護部

① パンダ ② 幼い頃から憧れていたから ③ 病院見学会に参加した際に温かい雰囲気だと感じたから ④ 患者さんとスタッフの距離が近く、患者さんやその家族に寄り添った対応をされている ⑤ 忙しい中でも周りを見て動ける余裕を持つ看護師に成長していきたいです。

かわした
川下 りりか

医事課

① ハムスター ② 医療事務に興味があったから ③ 十善会の理念に共感したから ④ 地域に密着した病院 ⑤ 診療や薬剤に関する知識を深め、患者さんに寄り添った対応が出来るようになりたいです。

たけもと
竹本 ゆり

看護部

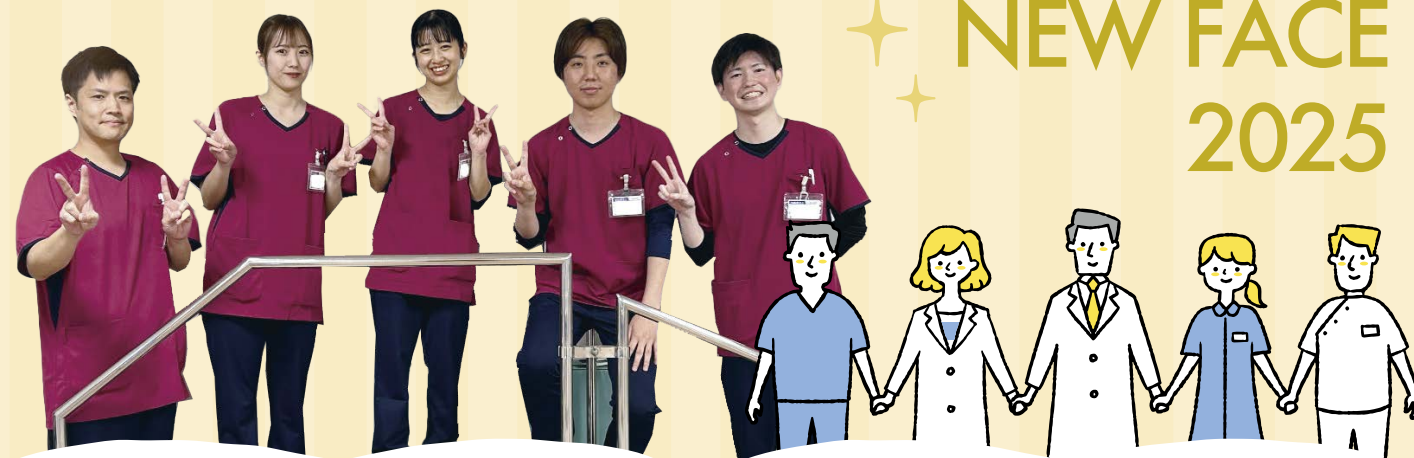
① ビーバー ② 人の役に立つ仕事をしたいと思ったから。 ③ 以前ここで働いており、病院の雰囲気などを知ったうえで、もう一度働きたいと思ったから。 ④ とっても雰囲気が良く、誰とでも話しやすい。 ⑤ しっかり業務をこなし、患者さんに信頼してもらえる存在になりたい。

うみべ みつき
海邊 翠月

看護部

① ナマケモノ ② 人の役に立ちたいと思ったから ③ 説明会に参加して ④ 仲良く明るい ⑤ 患者さんに信頼される人になりたい

NEW FACE 2025



おおつぼ こまき
大坪 小茉季

看護部

① かめ ② 人の役に立つ仕事を考えた時に、看護師が頭に浮かんだから。 ③ 十善会病院が地域に密着した医療を提供しているという理念を見て希望した。 ④ 職場の方々が優しく、働き続けられる職場環境だと思う。 ⑤ 看護業務を身につけ、忙しくても患者さんを第一に考えることのできる看護師になりたい。

おおやま かつみ
大山 克巳

看護部

① ゴリラ ② 幼い頃、看病をしてくれた看護師である母の影響を受けたからです。 ③ 看護補助者の時からお世話になっていたからです。 ④ 外観も綺麗で、先輩方も優しいです。 ⑤ 先輩方のように迅速に対応でき、患者さんに寄り添える看護師になりたいです。

やすなが なな
安永 菜々

看護部

① ひつじ ② 叔母や姉の影響で看護師を志し、一人でも多くの命を救い安心を届けたいと思ったからです。 ③ 十善会の理念に共感し、地域に貢献したいと思い選びました。 ④ 先輩看護師が優しく声をかけてくださり、働きやすい環境です。 ⑤ 疑問は必ず確認し、看護の質とアセスメント力を高めたいです。

いわなが あさひ
岩永 朝陽

リハビリ
テーション課

① 犬 ② 患者様の機能回復や維持のサポートがしたいと思ったから。 ③ 急性期から地域包括まで幅広く患者様に携えるから。 ④ スタッフの皆さんが優しい。 ⑤ 患者様と信頼関係を築き、頼ってもらえる PT になりたいです。

えのき ことね
榎木 殊音

リハビリ
テーション課

① カンガルー ② 高校生の時に部活で怪我をして、理学療法士にお世話になったからです。 ③ 同じ専門学校の先輩が多かったからです。 ④ 建物が綺麗 ⑤ 患者様に信頼して貰える理学療法士になりたいです。

ばば じゅんいち
馬場 潤一

リハビリ
テーション課

① 馬 ② 話すこと好きで、利用者の方に一番近くで寄り添えることに魅力を感じたからです。 ③ 理学療法を通して、地元の方々に貢献していきたいと思ったからです。 ④ コミュニケーションを取りやすい環境だと感じました。 ⑤ 適度な緊張感は忘れず、柔軟な思考で業務や環境に溶け込んでいけたらと思います。

たかひら ゆうま
高比良 雄誠

リハビリ
テーション課

① 猫 ② 患者様が、可能な限り自分らしい生活を取り戻せるようになりたいと思ったからです。 ③ 「救急から在宅まで」の理念のもと、病院の一員として働きたかったからです。 ④ 優しい先輩が多く、学びやすい環境です。 ⑤ 作業療法士としての知識や技術をできるだけ身につけ、2年目以降に繋がる土台作りができるよう努力したいです。

くりた ゆずは
栗田 柚葉

リハビリ
テーション課

① リス ② 生活する上で必要不可欠な動作獲得を、知識を活かして支える理学療法士に魅力を感じたからです。 ③ 実習でお世話になり、急性期病院のリハビリに興味を持ったからです。 ④ 多職種が連携して、迅速で適切な医療を提供している。 ⑤ 患者様とご家族に寄り添ったリハビリができる理学療法士に一步でも近づきたいです。

十善会病院

申込不要
参加無料

健康 まつり

2025年10月4日(土)
11:00～15:00

会場：十善会病院 1F 外来ロビー

相談・体験コーナー

- 健康相談 ● 栄養相談 ● お薬相談
- 介護相談 ● 血圧測定 ● 骨密度測定
- Inbody、健脚、握力測定

公開講座

● 公開講座会場：2F 講堂

- 「食事・栄養に関するテーマ」(栄養課)
- 「運動に関するテーマ」(リハビリテーション課)

そのほかにも！

ステージイベントや
飲食コーナーなど
楽しい企画をご用意して
お待ちしております！



連携先医療機関のご紹介

十善会病院は、地域医療支援病院として地域の医院やクリニックと連携し、皆さまの健康を守っています。
日常の健康管理やちょっとした体調不良の変化など、連携先医療機関にお気軽にご相談ください。

長崎市

サイノオ脳神経外科



病院外観

長崎市築町 5-14 トラッド中央橋 2 階
TEL 095-895-7717

診療科目：脳神経外科
休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日
(お盆休み、年末年始：約一週間程度)

ホームページ



外来の受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00-12:30	●	●	●	●	●	●	×	×
14:30-18:00	●	●	×	●	●	×	×	×

貴院の特徴を教えてください

当院では、脳神経外科専門医医師 1 名、看護師 3 名、放射線技師 1 名、臨床検査技師 3 名、事務員 3 名合計 11 名で診療しております。
MRI、CT、脳波、頸部動脈の超音波検査など行っております。
主に頭痛、認知症、めまい症など投薬治療、片側顔面痙攣のボトックス治療、痛みに対するブロック注射など行っております。



地域のかかりつけ医として気に掛けることは？

入院治療が必要な方には、十善会病院をはじめ、その他の病院に紹介し治療継続をしていただいております。
必要な場合は、近隣の脳神経外科、内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、整形外科、外科、歯科、整骨院などと連携し診療しております。



道祖尾 伯史 院長

最後に読者の皆さんにメッセージをお願いします

中央橋の交差点にあるビルの 2 階です。入口は中島川沿い側(東南)にあります。
2015 年に開業しました。今年でちょうど 10 年になります。
よろしくお願いいたします。